

1. 巡回バスの充実とより一層の利活用について問う

平成 27 年度からの試行運行を経て、平成 29 年度に本格運行を開始した巡回バスは、現在は 2 台体制となり、社会福祉法人開成町社会福祉協議会への委託により運営されている。

買い物や病院などへの日常的な移動に不自由を強いられている高齢者の方の移動手段となっているが、近頃は小さな子どもを連れた親子の利用者も増えてきている。

しかし、行きたい目的地までの巡回バス乗り場が遠い等の問題点や、巡回バスの町民に対する周知が必要と思われる。

また、今後、開成駅に急行が停まるようになり、観光客を迎えるにあたり、駅からイベント会場までの移動手段としての巡回バスの利活用も有効と考える。よって次の事項を問う。

- ① 巡回バスを始めるにあたり、目標としての利用率及び現状は。
- ② バス停の位置及び運用方法の見直しは考えているか。
- ③ 巡回バスの町イベントに対する移動手段としての活用は。

2. 開成駅周辺の鳥害対策のさらなる充実は

本町では、開成駅前地域のムクドリ対策を平成 29 年 8 月～11 月にかけて実施され、また、開成駅周辺樹木の剪定も進めている状態である。

しかし、一時期分散していたムクドリが再度、部分的に集まり始めており、より一層の対策で、過度に集まっているムクドリの分散対策が必要と考える。また、夜にねぐらとなっている場所の対応も、行政だけでは困難なため、民間企業に協力を求め、対策を進めなければならないと考える。

ムクドリの鳴き声による騒音被害や糞・悪臭、また、糞による虫の繁殖を防止するためにも、より一層の対策を行い、きれいで住みやすい環境を作り出してもらいたいと考え、次の事項を問う。

- ① 民間企業と協力し、対策を進めては。
- ② 部分的に集まるムクドリの把握と現状に対する対策は。